



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月13日

上場会社名 久光製薬株式会社 上場取引所 東・名・福
 コード番号 4530 URL <https://www.hisamitsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中富 一榮
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員広報・IR担当 (氏名) 高尾 信一郎 (TEL) 03-5293-1704
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	86,663	7.2	6,973	△14.2	8,665	9.3	6,218	8.7
2021年2月期第3四半期	80,822	△18.4	8,123	△55.9	7,928	△60.2	5,722	△62.9

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 9,349百万円(36.2%) 2021年2月期第3四半期 6,865百万円(△47.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	76.14	76.09
2021年2月期第3四半期	70.04	69.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	303,995	253,913	82.9
2021年2月期	299,861	253,809	84.1

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 251,971百万円 2021年2月期 252,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	41.75	—	41.75	83.50
2022年2月期	—	42.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,900	7.3	10,700	0.3	12,700	7.4	9,900	7.0	121.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年2月期3Q	85,164,895株	2021年2月期	85,164,895株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	4,025,727株	2021年2月期	3,430,483株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年2月期3Q	81,670,294株	2021年2月期3Q	81,698,419株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性があります。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性もあります。
- ・当社は、2022年1月13日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下の通りです。売上高は増収、営業利益は減益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はともに増益となりました。

<売上高>

売上高は、866億6千3百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。

国内市場において、医療用医薬品事業は、今年度に初めて実施された薬価の中間年改定や、継続的な後発品使用促進策による影響を引き続き受けましたが、経皮吸収型ドパミン作動性パーキンソン病治療剤「ハルロピ®テープ」の売上が伸長したことや、デジタルマーケティングを効果的に活用したことに加え、2020年4月の全国を対象とした緊急事態宣言下における受診抑制の反動もあり、前年同四半期比5.7%の増収となりました。なお、経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「ジクトル®テープ」は2021年3月に製造販売承認を取得し、同年5月に販売を開始しました。また、経皮吸収型 持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」は2021年8月に小児がん疼痛患者への適応拡大に関する承認事項一部変更承認を取得しました。

一般用医薬品事業は、厳しい販売競争に加え、昨年に限定商品を発売したことの反動等を受け「サロンパス®」の売上が減少しましたが、昨年と比べて鼻炎市場が回復傾向にある影響によって「アレグラ®FX」が売上を伸ばしたこと等により、前年同四半期比0.9%の増収となりました。今後も引き続き、店頭・デジタルマーケティングの双方を活用した効果的な販促活動を行ってまいります。また、2021年9月には機能性表示食品「Hisamitsu® 歩かんと®」を当社の通信販売サイト「Hisamitsu® いきいきOnline®」限定で発売し、さらに2021年10月には当社の貼り薬で使用している“伸縮性不織布”を採用した「貼り薬の不織布で作ったマスク」を発売しました。特にひもがない「貼るタイプ」のマスクは当社が培ってきた貼付剤技術を活用した、耳のかぶれや痛みなど、耳へのストレスがかからない商品です。このように当社は医薬品の枠を超えて、お客様のQOL向上に貢献できる様々な商品をお届けしてまいります。

一方、海外市場において、医療用医薬品事業は、米国で後発品の影響を受けたものの、その他の地域では売上を伸ばし、前年同四半期比5.2%の増収となりました。一般用医薬品事業は、一部地域において新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けたものの、米国及びアジアを中心としたその他の地域で売上を伸ばし、前年同四半期比17.4%の増収となりました。

〔地域別売上高〕

(単位：百万円)

		2021年2月期 第3四半期実績	2022年2月期 第3四半期実績	増減額	増減率
売上高		80,822	86,663	+5,841	+7.2%
医療用医薬品	日本	38,816	41,040	+2,224	+5.7%
	海外	9,500	9,999	+498	+5.2%
	米国	7,247	6,780	△467	△6.4%
	その他地域	2,253	3,218	+965	+42.9%
一般用医薬品 ・ その他	日本	13,916	14,042	+125	+0.9%
	海外	16,549	19,431	+2,882	+17.4%
	米国	8,986	10,079	+1,092	+12.2%
	その他地域	7,562	9,352	+1,789	+23.7%
その他事業	日本	2,039	2,149	+110	+5.4%

なお、前連結会計年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人の大幅な減少によるインバウンド需要の消失など、営業収益等の減少の影響を受けています。

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、ワクチン接種が進行すること等による各地域での感染拡大の収束、経済活動再開に伴い当社グループの需要は今後も徐々に回復していくものと想定しています。

<利益>

営業利益は、69億7千3百万円(前年同四半期比14.2%減)となりました。その主な要因は、売上原価率の増加に加えて、販売費及び一般管理費が増加したことによるものです。なお、販売費及び一般管理費につきましては、販促活動の増加により448億5百万円(前年同四半期比5.3%増)となりました。

経常利益は、86億6千5百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。その主な要因は、為替差損が為替差益に転じたことによるものです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、62億1千8百万円(前年同四半期比8.7%増)となりました。その主な要因は、経常利益の増加に加えて、投資有価証券売却益を計上したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表の概要は以下の通りです。

<資産、負債、純資産の状況>

総資産は、前連結会計年度末と比較して41億3千4百万円増加し、3,039億9千5百万円となりました。主な増減は、現金及び預金(56億5千3百万円増)、その他流動資産(65億6千9百万円増)及び受取手形及び売掛金(64億6千2百万円減)です。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して40億3千1百万円増加し、500億8千2百万円となりました。主な増減は、未払法人税等(10億5千9百万円増)、その他流動負債(60億6千7百万円増)及び電子記録債務(15億4千5百万円減)です。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して1億3百万円増加し、2,539億1千3百万円となりました。主な増減は、為替換算調整勘定(50億3千4百万円増)、自己株式(24億1千3百万円減)、その他有価証券評価差額金(19億4百万円減)です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表時(2021年4月8日)の予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	114,254	119,908
受取手形及び売掛金	39,546	33,083
有価証券	21,743	23,107
商品及び製品	11,359	10,012
仕掛品	465	532
原材料及び貯蔵品	6,744	6,890
その他	4,290	10,859
貸倒引当金	△343	△405
流動資産合計	198,061	203,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,180	13,746
その他（純額）	23,174	24,733
有形固定資産合計	37,354	38,480
無形固定資産		
販売権	27	458
その他	1,150	938
無形固定資産合計	1,178	1,397
投資その他の資産		
投資有価証券	54,602	51,293
その他	8,878	9,049
貸倒引当金	△214	△214
投資その他の資産合計	63,267	60,128
固定資産合計	101,800	100,007
資産合計	299,861	303,995

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,672	7,167
電子記録債務	7,127	5,582
短期借入金	1,111	1,111
未払法人税等	608	1,668
返品調整引当金	103	118
賞与引当金	1,350	490
その他	12,082	18,150
流動負債合計	30,057	34,289
固定負債		
長期借入金	296	238
退職給付に係る負債	7,928	8,132
その他	7,769	7,422
固定負債合計	15,994	15,793
負債合計	46,051	50,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,473	8,473
資本剰余金	2,352	2,356
利益剰余金	233,376	232,753
自己株式	△11,495	△13,908
株主資本合計	232,707	229,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,165	14,261
土地再評価差額金	3,790	3,784
為替換算調整勘定	△1,173	3,861
退職給付に係る調整累計額	575	389
その他の包括利益累計額合計	19,359	22,296
新株予約権	232	244
非支配株主持分	1,510	1,697
純資産合計	253,809	253,913
負債純資産合計	299,861	303,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	80,822	86,663
売上原価	30,148	34,884
売上総利益	50,674	51,779
販売費及び一般管理費	42,551	44,805
営業利益	8,123	6,973
営業外収益		
受取利息	507	110
受取配当金	570	595
為替差益	—	891
その他	390	329
営業外収益合計	1,467	1,927
営業外費用		
支払利息	5	11
為替差損	1,149	—
持分法による投資損失	208	74
操業休止関連費用	—	77
その他	299	72
営業外費用合計	1,662	235
経常利益	7,928	8,665
特別利益		
固定資産処分益	219	6
投資有価証券売却益	136	652
特別利益合計	356	659
特別損失		
固定資産処分損	21	53
販売中止に伴う損失	—	279
特別損失合計	21	333
税金等調整前四半期純利益	8,263	8,992
法人税等	2,409	2,564
四半期純利益	5,853	6,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	131	209
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,722	6,218

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	5,853	6,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,556	△1,855
為替換算調整勘定	△2,698	5,013
退職給付に係る調整額	146	△193
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△42
その他の包括利益合計	1,011	2,922
四半期包括利益	6,865	9,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,767	9,161
非支配株主に係る四半期包括利益	97	187

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年10月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、取得株式数2,000,000株、総額12,000百万円を上限として2021年10月15日から2022年2月28日の期間で自己株式の取得を進めています。これにより当第3四半期連結累計期間において自己株式を598,700株取得し2,423百万円増加しました。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が13,908百万円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している海外関係会社において、ASC第842号「リース」を、第1四半期連結会計期間より適用しています。

これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。

当該会計基準の適用に伴い、第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「その他(純額)」が1,018百万円、流動負債の「その他」が210百万円、固定負債の「その他」が806百万円増加しています。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結損益計算書に与える影響は軽微です。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。



環境への取り組みの原点は、「環境(eco)にいいこと始めよう!」
という一人ひとりの思いから。
久光製薬は環境活動のシンボルとして、
「HELLO! eco!」マークを策定し、
当社が定めるエコ基準をクリアした商品に順次表示してまいります。

 Hisamitsu.